

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)学校法人 京都インターナショナルユニバーシティー 新校舎新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

スコアシート		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q1 建築物の環境品質								2.3
Q1 室内環境					0.40			2.3
1 音環境				2.2	0.15			2.2
1.1 室内騒音レベル				1.0	0.40			
1.2 遮音				3.0	0.40			
1 開口部遮音性能				3.0	0.30			
2 界壁遮音性能				3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20			
1.3 吸音				3.0	0.20			
2 温熱環境				2.6	0.35			2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50			
1 室温				3.0	0.60			
2 外皮性能				3.0	0.40			
3 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御				1.0	0.20			
2.3 空調方式				3.0	0.30			
3 光・視環境				1.8	0.25			1.8
3.1 昼光利用				1.8	0.30			
1 昼光率				1.0	0.60			
2 方位別開口								
3 昼光利用設備				3.0	0.40			
3.2 グレア対策				1.0	0.30			
1 昼光制御				1.0	1.00			
3.3 照度				2.0	0.15			
3.4 照明制御				3.0	0.25			
4 空気質環境				2.6	0.25			2.6
4.1 発生源対策				3.0	0.50			
1 化学汚染物質				3.0	1.00			
4.2 換気				2.3	0.30			
1 換気量				3.0	0.33			
2 自然換気性能				3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33			
4.3 運用管理				2.0	0.20			
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50			
2 喫煙の制御				3.0	0.50			
Q2 サービス性能					0.30			2.2
1 機能性				2.4	0.40			2.4
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40			
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応				3.0	1.00			
3 パリアフリー計画				3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性				2.0	0.30			
1 広さ感・景観				1.0	0.50			
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画				3.0	0.50			
1.3 維持管理				2.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計				2.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50			
2 耐用性・信頼性				2.7	0.30			2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20			
2.4 信頼性				1.8	0.20			
1 空調・換気設備				3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20			
3 電気設備				1.0	0.20			
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20			
5 通信・情報設備				1.0	0.20			

3 対応性・更新性			1.6	0.30		-	1.6
3.1 空間のゆとり			1.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	-	1.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	-	1.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			1.8	0.40		-	
1	空調配管の更新性	-	1.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性	-	1.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性	-	3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性	-	3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性	-	1.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)							2.5
1	生物環境の保全と創出	-	2.0	0.30		-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.2
LR1 エネルギー				0.70			3.8
1	建物外皮の熱負荷抑制	年間熱負荷係数【BPI _m 】=0.54	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用	太陽光発電は売電の可能性ありの為、直接利用に含めない	3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化	一次エネルギー消費量【BEI _m 】=0.68	4.2	0.50		-	4.2
4	効率的運用		2.0	0.20		-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00		-	
4.1	モニタリング	-	3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	-	1.0	0.50		-	
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング	-					
4.2	運用管理体制	-					
LR2 資源・マテリアル				0.30			2.7
1	水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
1.1	節水	-	3.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.5	0.60		-	2.5
2.1	材料使用量の削減	-	-	-		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.11		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	-	3.0	0.22		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20		-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30		-	
3.2	フロン・ハロンの回避	-	3.0	0.70		-	
1	消火剤	-	-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50		-	
3	冷媒	-	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境							3.0
1	地球温暖化への配慮	外壁・屋根の断熱性能を高めた	3.8	0.33		-	3.8
2	地域環境への配慮		2.3	0.33		-	2.3
2.1	大気汚染防止	-	3.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	-	2.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1	騒音	-	3.0	0.50		-	
2	振動	-	3.0	0.50		-	
3	悪臭	-	-	-		-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
1	風害の抑制	-	3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制	-	3.0	-		-	
3	日照障害の抑制	-	3.0	0.30		-	
3.3	光害の抑制		3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明なし	3.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)学校法人 京都インターナショナルユニバーシティ 新校舎新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	○	○	-	-	-	○	-	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	1.0		-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	-	-	-	-	○	-	○						
2.4.3 電気設備	-		-	-	-	-	-	-	-						
2.4.5 通信・情報設備	-		-	-	-	-	-	-	-						
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0		-	-	-	1.0	-	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-	
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0		-	-	-	-	3.0	-	-	-	-	-	-	-	
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	3.0		-	-	-	-	-	-	-	2.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	1.0		1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC
屋光率	0.6%	ηAH	-
自然換気有効開口面積率	0.0%		

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	0.0㎡/人	病床	0.0㎡/床	シングル	0.0㎡	ツイン	0.0㎡
--------	--------	----	--------	------	------	-----	------

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	30.0 VA/㎡
---------	-----------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	0 m
-----	-----

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	0 年
--------	-----

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

2.2.4 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

3.1.1 階高のゆとり

階高	3.5 m
----	-------

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	0.0%
-------	------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	2900 N/m2
-----	-----------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	8%	建物緑化指数	0%
--------	----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	0%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	3%	舗装面積率	2%
-----	----	---------	----	----------	----	-------	----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	0.54	断熱等性能等級	等級2 相当
----------------------	------	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	100.0%	採光を満たす住戸数	0.0%
		通風を満たす教室数	100.0%	通風を満たす住戸数	0.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI _m	非住宅	0.68	住宅	-	太陽光	78.1kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
----------------------	-----	------	----	---	-----	--------	------	------	-----	------

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	0.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	#DIV/0!	隣棟間隔指標Rw	-
地表面対策面積率	3.0%	屋根面対策面積率	0.0%
		外壁面対策面積率	0.0%
見付面積Sb	30㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	30 m
		基準高さHb	30 m
緑地	163㎡	水面	㎡
		保水性対策面	㎡
		高反射対策面	㎡
		再帰性反射対策面	㎡